

令和7年度 公共事業 再評価 対象事業一覧表

資料 1

(くらし・環境部所管事業)

単位 (事業費) : 百万円

番号	事業主体	事業名	(ふりがな) 箇所名	関係市町	事業内容	事業概要			再評価理由	前回評価時点からの事業進捗				事業の投資効果		※1 変更理由等 (全体事業費) (計画期間)	※2 評価の視点		対応方針 (案) 及び理由		特記事項	担当課
						評価時期	計画期間			全体事業費	事業費	進捗率	B/C (i=4%)	EIRR	事業の必要性		進捗の見込み	対応方針 (案)	理由			
							上段: 前回or着手時	上段: 前回or着手時														
							下段: 今回	下段: 今回														
1	静岡県	公営住宅等整備事業	けんえいじゆうたく きんごこ 県営住宅佐鳴湖 だんち たてかま せいじじょう 団地建替整備事 業	浜松市	県営住宅の建替 ・解体: 12棟560戸 ・新築: 5棟440戸	R3 (当初)	R3~R11	8,253	0	0.0%	-	-	-	◎	◎	継続	・安全で良質な住宅ストックの形成が図られている。 ・設計施工の一括発注やスケールメリットによるコスト削減及び工期短縮が実現できている。 ・令和7年11月には第2工区が完成するなど、事業は予定どおりに進捗している。 ・団地自治会へのアンケートの結果、事業継続を要望する意見が多かったことから、事業を継続する。	国 50% 県 50%	公営住宅課			
						R7 (今回)	R3~R11 (変更なし)	7,994 (-3%、259減)	4,971	62.2%	-	%										

(経済産業部所管事業)

単位 (事業費) : 百万円

番号	事業主体	事業名	(ふりがな) 箇所名	関係市町	事業内容	事業概要			再評価理由	前回評価時点からの事業進捗				※1 変更理由等 (全体事業費) (計画期間)	※2 評価の視点		対応方針 (案) 及び理由		特記事項	担当課	
						評価時期	計画期間			全体事業費	事業費	進捗率	B/C (i=4%)		EIRR	事業の必要性	進捗の見込み	対応方針 (案)			理由
							上段: 前回or着手時	上段: 前回or着手時													
							下段: 今回	下段: 今回													
2	静岡県	農業農村整備事業	にしゅうの たまほ 西浦みかん立保 古宇	沼津市	農道工 L=7,487m 用水路工 L=250m 鳥獣害防止柵工 L=15,000m	H27 (当初)	H27~R6	2,093	-	-	1.1	-	◎	◎	継続	・本事業により農道の整備が進み、通作や輸送の利便性が大幅に高まり、営農の効率化が図られている。また、用水路の整備が進むことで防除作業の効率化が図られるとともに、鳥獣害防止柵を設置することで、農業被害の軽減、営農意欲の向上に繋がる。 ・受益者からは、「整備効果が出ている」等の事業推進に期待する前向きな意見が多数出しており、今後の事業進捗が見込まれるため、事業を継続する。	国 50% 県 30% 地元20%	農地整備課			
						R7 (今回)	H27~R12 (+60%、+6年延伸)	4,213 (+101%、2,120増)	1,608	38.2%	1.2	8.7									
3	静岡県	農業農村整備事業	しんかんご 新神子	御前崎市	排水機場工 N=1 箇所 排水路工 L=1,124m	H27 (当初)	H27~R1	689	-	-	1.9	-	◎	◎	継続	・先行して整備した排水機場及び排水路により、湛水被害が発生しておらず、地元は事業の効果を実感しており、未整備区間の早期完成を望む声が上がっている。 ・農家の営農意欲が高まり、高収益作物等への転換が進んでいる。 ・本事業により湛水被害が軽減されることで安定した農業経営が図られるとともに、生活環境の安全性向上が地域全体の活性化に繋がることから、事業を継続し早期完成を目指す。	国 50% 県 40% 地元 10%	農地保全課			
						R7 (今回)	H27~R10 (+180%、9年延伸)	884 (+28%、195増)	697	78.8%	1.6	9.2%									

(交通基盤部所管事業)

単位 (事業費) : 百万円

番号	事業主体	事業名	(ふりがな) 箇所名	関係市町	事業内容	事業概要			再評価理由	前回評価時点からの事業進捗				※1 変更理由等 (全体事業費) (計画期間)	※2 評価の視点		対応方針 (案) 及び理由		特記事項	担当課	
						評価時期	計画期間			全体事業費	事業費	進捗率	B/C (i=4%)		EIRR	事業の必要性	進捗の見込み	対応方針 (案)			理由
							上段: 前回又は着手時	上段: 前回又は着手時													
							下段: 今回	下段: 今回													
4	静岡県	道路改良事業	しゅうのちほうどうようしだいたい 主要地方道吉田大 東線	島田市 牧之原市	道路工 L=1,700m、W=10.0m	R2 (前回)	H28~R7	1,810	610	33.7%	3.5	12.6%	◎	◎	継続	・本事業は、費用対効果が高く、産業や観光の活性化に大きく寄与することから、継続して早期完成を図る。	国 50% 県 50%	道路整備課			
						R7 (今回)	H28~R11 (+40%、4年延伸)	3,280 (+81%、1,470増)	1,861	56.7%	2.0	7.7%									
5	静岡県	道路改良事業	いっぽんどうなかおみや 一般県道中大見八 幡野線	伊東市	道路工 L=1,330m、W=9.75m	R3 (前回)	R3~R6	600	-	-	-	-	◎	◎	継続	・本事業は観光地へのアクセス強化及び災害時の緊急車両の通行の確保に大きく寄与することから、事業を継続して早期完成を図る。	国 45% 県 55%	道路整備課			
						R7 (今回)	R3~R9 (+75%、3年延伸)	820 (+34%、220増)	755	92.1%	1.0	4.1%									
6	静岡県	道路改良事業	いっぽんはんごうしんごくばら 一般県道仙石原新 田線	裾野市	道路工 L=1,000m、W=7.0m	R3 (前回)	R3~R6	800	-	-	-	-	◎	◎	継続	・本事業は観光地へのアクセス強化及び災害時の緊急車両の通行の確保に大きく寄与することから、事業を継続して早期完成を図る。	国 45% 県 55%	道路整備課			
						R7 (今回)	R3~R10 (+100%、4年延伸)	1,900 (+138%、1,100増)	1,163	61.2%	1.5	6.2%									
7	静岡県	道路改良事業	いっぽんがらみどろり 一般県道下土狩徳 ぬまづこうせん かのが 倉沼津港線 (狩野 川第三架橋)	清水町 三島市	道路工 L=1,200m、W=14.0m うち、橋梁工 L=260m	R3 (前回)	R3~R15	7,000	-	-	-	-	◎	◎	継続	・本事業は、狩野川の新たに渡河する橋梁であり、安全で円滑な交通を確保するとともに、大規模災害時の輸送機能確保を図るものである。事業は円滑に進捗しており、期待される効果も高いことから、事業を継続する。	国 50% 県 50%	道路整備課			
						R7 (今回)	R3~R19 (+31%、4年延伸)	7,800 (+11%、800増)	848	10.9%	1.0	4.1%									

番号	事業主体	事業名	(ふりがな) 箇所名	関係市町	事業内容	事業概要			再評価理由	前回評価時点からの事業進捗				※1 変更理由等 (全体事業費) (計画期間)	※2 評価の視点		対応方針(案)及び理由		特記事項	担当課		
						評価時期	計画期間	全体事業費		事業費	進捗率	B/C (i=4%)	EIRR		事業の必要性	進捗の見込み	対応方針(案)	理由				
							上段: 前回又は着手時	上段: 前回又は着手時													上段: 当初または前回	上段: 当初または前回
							下段: 今回	下段: 今回													下段: 今回	下段: 今回
8	静岡県	河川改修事業 (広域河川改修事業)	にきゅうかせんじんぐうじかかわ 二級河川神宮寺川	浜松市	河道改修 L=1500m 橋梁工 N=1橋	R2 (前回)	H28~R10	562	再評価実施 (R2) 後5年が経過	260	46.3%	1.6	8.0%	◎	◎	継続	当地域では、近年、激甚化・頻発化する豪雨により、事業の必要性が一層高まっており、さらに事業の投資効果も見込まれ、地元住民の事業への期待も大きく、今後の事業の進捗が見込めることから、事業を継続する。	国 県	50% 50%	河川海岸 整備課		
						R7 (今回)	H28~R14 (+31%、4年延伸)	967 (+72%、405増)		617	63.8%	1.2	5.1%									
9	静岡県	河川改修事業 (広域河川改修事業)	にきゅうかせんぼりどがわ 二級河川堀留川	浜松市	河道改修 L=2300m 橋梁工 N=6橋 水門工 L=1基	R2 (前回)	H27~R26	12,300	再評価実施 (R2) 後5年が経過	790	6.4%	16.8	67.6%	◎	◎	継続	当地域では、近年、激甚化・頻発化する豪雨により、事業の必要性が一層高まっており、さらに事業の投資効果も見込まれ、地元住民の事業への期待も大きく、今後の事業の進捗が見込めることから、事業を継続する。	国 県	50% 50%	河川海岸 整備課		
						R7 (今回)	H27~R26 (変更なし)	17,800 (+45%、5,500増)		3,702	20.8%	7.0	25.4%									
10	静岡県	河川改修事業 (浜松飛行場周辺障害防止対策事業)	にきゅうかせんひばんだがわ 二級河川東神田川	浜松市	河道改修 L=1800m	R2 (前回)	H28~R13	1,799	再評価実施 (R2) 後5年が経過	497	27.6%	6.4	31.1%	◎	◎	継続	当地域では、近年、激甚化・頻発化する豪雨により、事業の必要性が一層高まっており、さらに事業の投資効果も見込まれ、地元住民の事業への期待も大きく、今後の事業の進捗が見込めることから、事業を継続する。	国 県	66.7% 33.3%	河川海岸 整備課		
						R7 (今回)	H28~R19 (+38%、6年増)	2,078 (+16%、279増)		948	45.6%	7.1	37.6%									
11	静岡県	河川改修事業 (広域河川改修事業)	にきゅうかせんともえがわ 二級河川巴川	静岡市	河道改修 L=6600m 遊水地工 N=1箇所	R3 (前回)	H21~R20	56,117	河川整備計画変更 (R3) 後5年目	35,965	64.1%	2.7	10.3%	◎	◎	継続	当地域では、近年、激甚化・頻発化する豪雨により、事業の必要性が一層高まっており、さらに事業の投資効果も見込まれ、地元住民の事業への期待も大きく、今後の事業の進捗が見込めることから、事業を継続する。	国 県	50% 50%	河川海岸 整備課		
						R7 (今回)	H21~R20 (変更なし)	59,123 (+5%、3,006増)		45,545	77.0%	2.7	12.2%									
12	静岡県	河川改修事業 (地震・高潮対策事業)	にきゅうかせんまごめがわ 二級河川馬込川	浜松市	水門工 N=1基	R5 (前回)	R1~R9	8,400	社会経済情勢の 急激な変化(全体事業費の増加)	2,847	33.9%	6.9	415.2%	◎	◎	継続	浜松市沿岸域の防潮堤整備は17.5kmがR2.3月に完了し、水門を含む馬込川河口部400mを残すのみとなり、背後地には旧区役所や学校が立地し、津波発生時の被害が甚大であることから、地域から早急な整備完了を求められている。 また、沿岸部の安全確保に合わせて、隣接する中田島砂丘などの観光資源を含めた沿岸部の利活用促進に向けて地域の期待が高まっていることから、事業を継続する。	国 県	50% 50%	河川海岸 整備課		
						R7 (今回)	R1~R9 (変更なし)	9,700 (+16%、1,300増)		7,191	74.1%	5.7	209.7%									
13	静岡県	通常砂防事業	しもおのなかざわ 下小野中沢	南伊豆町	砂防堰堤工 N=1基	R3 (当初)	R3~R7	140	事業採択(R3) 後5年が経過	-	-	17.5	-	◎	◎	継続	・近年、局地化、集中化した豪雨が頻発化し、甚大な土砂災害が発生しており、南伊豆町においても令和3年度に土砂災害が発生する中、小学校を保全する本事業に対する地元の期待は大きい。さらに、費用対効果も見込まれ、今後の事業進捗が見込まれることから、事業を継続する。	国 県	50% 50%	砂防課		
						R7 (今回)	R3~R10 (+60%、3年延伸)	140 (変更なし)		53	37.9%	22.5	34.5%									
14	静岡県	通常砂防事業	しもおのなかざわ 下小野西沢	南伊豆町	砂防堰堤工 N=1基	R3 (当初)	R3~R7	104	事業採択(R3) 後5年が経過	-	-	3.0	-	◎	◎	継続	・近年、局地化、集中化した豪雨が頻発化し、甚大な土砂災害が発生しており、南伊豆町においても令和3年度に土砂災害が発生する中、アンケート調査でも全員が事業継続の必要性を感じており、地元の期待は大きい。さらに、費用対効果も見込まれ、今後の事業進捗が見込まれることから、事業を継続する。	国 県	50% 50%	砂防課		
						R7 (今回)	R3~R10 (+60%、3年延伸)	104 (変更なし)		45	43.3%	6.1	17.2%									
15	静岡県	火山砂防事業	しもおのなかざわ 下多賀小山沢	熱海市	砂防堰堤工 N=1基	R2 (前回)	H28~R6	186	再評価(R2) 後 5年間経過	26	12.4%	23.2	115.5%	◎	◎	継続	・近年、局地化、集中化した豪雨が頻発化し、甚大な土砂災害が発生しており、熱海市においても令和6年に土砂災害が発生し、アンケート調査でも回答を得られた全員が事業継続の必要性があると回答し、事業に対する地元の期待も大きい。また協議が継続していた用地についても、今年度中に協議が整う見込みである。費用対効果も見込まれ、今後の事業進捗が見込まれることから、事業を継続する。	国 県	55% 45%	砂防課		
						R7 (今回)	H28~R10 (+44% 4年延伸)	186 (変更なし)		29	15.6%	22.8	26.8%									
16	静岡県	火山砂防事業	あかざわ 赤沢右支川	伊東市	砂防堰堤工 N=1基	R3 (当初)	R3~R7	405	事業採択(R3) 後5年が経過	-	-	4.3	-	◎	◎	継続	・近年、激甚災害が頻発化し、県内でも甚大な土砂災害が発生しており、伊東市においても令和6年に土砂災害が発生する中、国道135号に加え、私鉄伊豆急行線を保全する本事業への期待は大きい。さらに、費用対効果も見込まれ、今後の事業進捗が見込まれることから、事業を継続する。	国 県	55% 45%	砂防課		
						R7 (今回)	R3~R10 (+60%、3年延伸)	513 (+27%、108増)		109	21.2%	9.9	18.9%									

番号	事業主体	事業名	(ふりがな) 箇所名	関係市町	事業内容	事業概要			再評価理由	前回評価時点からの事業進捗				※1 変更理由等 (全体事業費) (計画期間)	※2 評価の視点		対応方針(案)及び理由		特記事項	担当課	
						評価時期	計画期間			全体事業費	事業費	進捗率	事業の投資効果		事業の必要性	進捗の見込み	対応方針(案)	理由			
							上段: 前回又は着手時	下段: 今回					B/C (i=4%)								EIRR
							上段: 前回又は着手時	下段: 今回					上段: 当初または前回								下段: 今回
17	静岡県	火山砂防事業	釜ヶ洞沢	伊豆市	砂防堰堤工 N=1基	R3 (当初)	R3~R11	505	事業採択 (R3) 後5年が経過	-	-	8.9	-	-	◎	◎	継続	・近年、局地化、集中化した豪雨が頻発化し、甚大な土砂災害が発生しており、伊豆市においても令和3年度からこれまでに8件の土砂災害が発生するなど、事業に対する地元の期待も大きい。さらに、費用対効果も見込まれ、今後の事業進捗が見込まれることから、事業を継続する。	国 55% 県 45%	砂防課	
						R7 (今回)	R3~R13 (+22%、2年延伸)	505 (変更なし)		44	8.7%	14.0	16.3%								
18	静岡県	火山砂防事業	半経寺沢A	伊豆市	砂防堰堤工 N=1基	R3 (当初)	R3~R9	217	事業採択 (R3) 後5年が経過	-	-	49.9	-	-	◎	◎	継続	・近年、局地化、集中化した豪雨が頻発化し、甚大な土砂災害が発生しており、伊豆市においても令和3年度からこれまでに8件の土砂災害が発生するなど、事業に対する地元の期待も大きい。さらに、費用対効果も見込まれ、今後の事業進捗が見込まれることから、事業を継続する。	国 55% 県 45%	砂防課	
						R7 (今回)	R3~R11 (+29%、2年延伸)	197 (-9% 20減)		36	18.3%	87.6	44.7%								
19	静岡県	火山砂防事業	西浜沢	伊豆市	砂防堰堤工 N=1基	R3 (当初)	R3~R7	113	事業採択 (R3) 後5年が経過	-	-	2.9	-	・工事用道路のルートについて地権者との協議に不測の日時を要したため	◎	◎	継続	・近年、局地化、集中化した豪雨が頻発化し、甚大な土砂災害が発生しており、伊豆市においても令和3年度からこれまでに8件の土砂災害が発生するなど、事業に対する地元の期待も大きい。さらに、費用対効果も見込まれ、今後の事業進捗が見込まれることから、事業を継続する。	国 55% 県 45%	砂防課	
						R7 (今回)	R3~R10 (+60%、3年延伸)	113 (変更なし)		34	30.1%	5.3	10.1%	・地権者との用地境界確定に不測の日時を要したため							
20	静岡県	火山砂防事業	毘沙門川	伊豆の国市	砂防堰堤工 N=1基	R3 (当初)	R3~R10	431	事業採択 (R3) 後5年が経過	-	-	7.3	-	-	◎	◎	継続	・近年、局地化、集中化した豪雨が頻発化し、甚大な土砂災害が発生しており、伊豆の国市においても令和3年度からこれまでに8件の土砂災害が発生するなど、事業に対する地元の期待も大きい。さらに、費用対効果も見込まれ、今後の事業進捗が見込まれることから、事業を継続する。	国 55% 県 45%	砂防課	
						R7 (今回)	R3~R10 (変更なし)	431 (変更なし)		123	28.5%	11.9	14.8%								
21	静岡県	火山砂防事業	清水川第1支川	富士宮市	砂防堰堤工 N=1基	R3 (当初)	R3~R7	300	事業採択 (R3) 後5年が経過	-	-	8.0	-	・放流先のルート選定に当り、関係機関との調整に不測の日時を要したため	◎	◎	継続	・近年、局地化、集中化した豪雨が頻発化し、甚大な土砂災害が発生しており、富士宮市においても令和6年に土砂災害が発生している。「早く整備を進めて欲しい」といった地元の意見もある中、時間を要している関係機関との協議についても今年度中に整う見込みである。費用対効果も見込まれ、今後の事業進捗が見込まれることから、事業を継続する。	国 55% 県 45%	砂防課	
						R7 (今回)	R3~R11 (+80%、4年延伸)	300 (変更なし)		18	6.0%	12.5	21.4%								
22	静岡県	通常砂防事業	俵沢上沢	静岡市	砂防堰堤工 N=1基	R3 (当初)	R3~R7	350	事業採択 (R3) 後5年が経過	-	-	3.3	-	・管理用道路の設置箇所について地権者の同意に不測の日時を要したため	◎	◎	継続	・近年、局地化、集中化した豪雨が頻発化し、甚大な土砂災害が発生しており、静岡市においても令和3年度からこれまでに87件の土砂災害が発生するなど、事業に対する地元の期待も大きい。さらに、費用対効果も見込まれ、今後の事業進捗が見込まれることから、事業を継続する。	国 50% 県 50%	砂防課	
						R7 (今回)	R3~R11 (+80%、4年延伸)	330 (-6% 20減)		33	10.0%	4.1	12.1%	・管理用道路について、現地測量結果を基に再検討し、ルートに変更したため							
23	静岡県	通常砂防事業	荒神沢	島田市	砂防堰堤工 N=1基	R3 (当初)	R3~R7	153	事業採択 (R3) 後5年が経過	-	-	27.6	-	・用地取得に不測の日時を要したため	◎	◎	継続	・近年、局地化、集中化した豪雨が頻発化し、甚大な土砂災害が発生しており、島田市においても令和3年度からこれまでに27件の土砂災害が発生していることに加え、保全対象に浄水場を含む本事業に対する地元の期待も大きい。さらに、費用対効果も見込まれ、今後の事業進捗が見込まれることから、事業を継続する。	国 50% 県 50%	砂防課	
						R7 (今回)	R3~R10 (+60%、3年延伸)	254 (+66%、101増)		65	25.6%	22.0	31.4%	・詳細設計により、渓流保全工の追加や堰堤形状の変更が生じたため							
24	静岡県	通常砂防事業	身成井戸沢	島田市	砂防堰堤工 N=1基	R3 (当初)	R3~R8	140	事業採択 (R3) 後5年が経過	-	-	9.6	-	-	◎	◎	継続	・近年、局地化、集中化した豪雨が頻発化し、甚大な土砂災害が発生しており、島田市においても令和3年度からこれまでに27件の土砂災害が発生するなど、事業に対する地元の期待も大きい。さらに、費用対効果も見込まれ、今後の事業進捗が見込まれることから、事業を継続する。	国 50% 県 50%	砂防課	
						R7 (今回)	R3~R10 (+33%、2年延伸)	182 (+30%、42増)		51	28.0%	12.4	26.1%								
25	静岡県	通常砂防事業	釜ノ沢	島田市	砂防堰堤工 N=1基	R3 (当初)	R3~R7	117	事業採択 (R3) 後5年が経過	-	-	11.4	-	・用地取得に不測の日時を要したため	◎	◎	継続	・近年、局地化、集中化した豪雨が頻発化し、甚大な土砂災害が発生しており、島田市においても令和3年度からこれまでに27件の土砂災害が発生するなど、事業に対する地元の期待も大きい。さらに、費用対効果も見込まれ、今後の事業進捗が見込まれることから、事業を継続する。	国 50% 県 50%	砂防課	
						R7 (今回)	R3~R10 (+60%、3年延伸)	117 (変更なし)		44	37.6%	17.9	31.7%								

番号	事業主体	事業名	(ふりがな) 箇所名	関係市町	事業内容	事業概要			再評価理由	前回評価時点からの事業進捗				※1 変更理由等 (全体事業費) (計画期間)	※2 評価の視点		対応方針(案)及び理由		特記事項	担当課
						評価時期	計画期間	全体事業費		事業費	進捗率	事業の投資効果			事業の必要性	進捗の見込み	対応方針(案)	理由		
							上段: 前回又は着手時	上段: 前回又は着手時				B/C (i=4%)	EIRR							
							下段: 今回	下段: 今回				上段: 当初または前回	上段: 当初または前回							
35	静岡県	急傾斜地崩壊対策事業	熊坂No.2	伊豆市	重力式擁壁工 L=128m 補強土壁工 L=31m	R3 (当初)	R3~R9	173	事業採択 (R3) 後5年が経過	-	-	7.2	-	-	◎	◎	継続	・近年、局地化、集中化した豪雨が頻発化し、甚大な土砂災害が発生しており、伊豆市においても令和3年からこれまでに8件の土砂災害が発生するなど、事業に対する地元の期待も大きい。さらに、費用対効果も見込まれ、今後の事業進捗が見込まれることから、事業を継続する。	国 40% 県 50% (市町 10%)	砂防課
						R7 (今回)	R3~R11 (+28%、2年延伸)	173 (変更なし)		35	20.2%	14.3	23.4%							
36	静岡県	急傾斜地崩壊対策事業	新聞和田A	静岡市	擁壁工 L=98m	R3 (当初)	R3~R9	151	事業採択 (R3) 後5年が経過	-	-	4.3	-	-	◎	◎	継続	・近年、局地化、集中化した豪雨が頻発化し、甚大な土砂災害が発生しており、静岡市においても令和3年からこれまでに87件の土砂災害が発生するなど、事業に対する地元の期待も大きい。さらに、費用対効果も見込まれ、今後の事業進捗が見込まれることから、事業を継続する。	国 47.5% 県 47.5% (市町 5%)	砂防課
						R7 (今回)	R3~R9 (変更なし)	151 (変更なし)		130	86.1%	8.5	23.2%							
37	静岡県	急傾斜地崩壊対策事業	谷下	浜松市	法面工 A=4300m2 擁壁工 L=454m	R3 (当初)	R3~R10	428	事業採択 (R3) 後5年が経過	-	-	3.7	-	-	◎	◎	継続	・近年、局地化、集中化した豪雨が頻発化し、甚大な土砂災害が発生しており、浜松市においても令和3年からこれまでに54件の土砂災害が発生するなど、事業に対する地元の期待も大きい。さらに、費用対効果も見込まれ、今後の事業進捗が見込まれることから、事業を継続する。	国 45% 県 45% (市町 10%)	砂防課
						R7 (今回)	R3~R12 (+25%、2年延伸)	550 (+28%、122増)		112	20.4%	6.5	16.0%							
38	静岡県	急傾斜地崩壊対策事業	船明上塚	浜松市	法面工 A=2160m2 擁壁工 L=314m	R3 (当初)	R3~R9	459	事業採択 (R3) 後5年が経過	-	-	3.5	-	-	◎	◎	継続	・近年、局地化、集中化した豪雨が頻発化し、甚大な土砂災害が発生しており、浜松市においても令和3年からこれまでに54件の土砂災害が発生するなど、事業に対する地元の期待も大きい。さらに、費用対効果も見込まれ、今後の事業進捗が見込まれることから、事業を継続する。	国 45% 県 45% (市町 10%)	砂防課
						R7 (今回)	R3~R11 (+29%、2年延伸)	467 (+1%、8増)		80	17.1%	6.8	15.8%							
39	静岡県	地すべり防止事業 (治山事業)	下里	浜松市	集水井 N=4基	R2 (前回)	H22~R7	1,520	再評価 (R2) 後5年が経過	624	41.0%	1.1	5.4%	-	◎	◎	継続	・費用対効果も見込まれ、安全・安心な生活基盤に大きく寄与することから、事業を継続して早期完成を図る。	国 50% 県 50%	砂防課
						R7 (今回)	H22~R9 (+13%、2年延伸)	1,520 (変更なし)		1,148	75.5%	1.4	9.9%							
40	静岡県	港湾改修事業	清水港 新興津地区	静岡市	物揚場 L=865m 防波堤 L=400m	R4 (前回)	H20~R7	8,363	社会経済情勢の急激な変化等 (全体事業費の増加)	5,913	70.7%	1.1	4.5%	-	◎	◎	継続	・近年、船舶の大型化により、早急な対策が求められており、さらに、事業の投資効果も見込まれ、地元も事業に協力的など、今後の事業の進捗が見込めることから、事業を継続する。	国 40% 県 45% 市 15%	港湾整備課
						R7 (今回)	H20~R11 (+12%、4年延伸)	9,191 (+10%、828増)		7,902	86.0%	1.0	4.0%							
41	静岡県	港湾改修事業	浜名港 舞阪地区	浜松市	導流堤 L=212m	R6 (前回)	H26~R7	700	社会経済情勢の急激な変化等 (全体事業費の増加)	577	82.4%	2.7	9.8%	・資材価格の高騰に伴う増額 ・地元調整による施工期間の制約	◎	◎	継続	・近年、荒天日数の増加により、早急な対策が求められており、さらに、事業の投資効果も見込まれ、地元も事業に協力的など、今後の事業の進捗が見込めることから、事業を継続する。	国 40% 県 35% 市 25%	港湾整備課
						R7 (今回)	H26~R9 (+17%、2年延伸)	1,125 (+61%、425増)		579	51.5%	1.5	6.1%							
42	静岡県	津波対策緊急事業	清水港海岸 日の出地区	静岡市	胸壁 (新設) L=1,370m 陸間 (新設) N=26基 胸壁 (改良) L=108m 陸間 (改良) N=3基	R3 (当初)	R3~R12	5,315	事業採択 (R3) 後5年が経過	-	-	1.4	5.8%	-	◎	◎	継続	・近年、東日本大震災や能登半島地震での津波発生により、事業の必要性が高まっており、早急な対策が求められている。さらに、事業の投資効果も見込まれ、地元住民からの期待も大きく、今後の事業の進捗が見込めることから、事業を継続する	国 50% 県 50%	港湾整備課
						R7 (今回)	R3~R12 (変更なし)	6,727 (+27%、1,412増)		1,950	29.0%	1.4	6.8%							
43	静岡県	津波対策緊急事業	御前崎海岸 御前崎・下岬地区	御前崎市	胸壁 (改良) L=2,722m 陸間 (改良) N=9基	R3 (前回)	H19~R12	7,784	再評価実施 (R3) 後5年が経過	2,014	25.9%	1.7	6.4%	・地盤改良工追加に伴う増額、資材価格の高騰 ・陸間改良整備期の見直しに伴う計画期間の延長	◎	◎	継続	・近年、東日本大震災や能登半島地震での津波発生により、事業の必要性が高まっており、早急な対策が求められている。さらに、事業の投資効果も見込まれ、地元住民からの期待も大きく、今後の事業の進捗が見込めることから、事業を継続する	国 50% 県 50%	港湾整備課
						R7 (今回)	H19~R18 (+25%、6年延伸)	11,241 (+44%、3,457増)	社会経済情勢の急激な変化等 (全体事業費の増加)	4,092	36.4%	1.6	6.3%							

番号	事業主体	事業名	(ふりがな) 箇所名	関係市町	事業内容	事業概要			再評価理由	前回評価時点からの事業進捗				※1 変更理由等 (全体事業費) (計画期間)	※2 評価の視点		対応方針(案)及び理由		特記事項	担当課		
						評価時期	計画期間	全体事業費		事業費	進捗率	B/C (i=4%)			EIRR	事業の必要性	進捗の見込み	対応方針(案)			理由	事業費負担割合
							上段: 前回又は着手時	上段: 前回又は着手時				上段: 当初または前回	上段: 当初または前回									
							下段: 今回	下段: 今回														
44	静岡県	高潮対策事業	熱海港海岸 多賀地区	熱海市	護岸(改良) L=1,000m	R3 (当初)	R3~R10	2,240	事業採択(R3) 後5年が経過	-	-	1.5	6.2%	-	◎	◎	継続	・近年、東日本大震災や能登半島地震での津波発生により、事業の必要性が高まっており、早急な対策が求められている。さらに、事業の投資効果も見込まれ、地元住民からの期待も大きく、今後の事業の進捗が見込めることから、事業を継続する。	国 50% 県 50%	港湾整備課		
						R7 (今回)	R3~R10 (変更なし)	2,240 (変更なし)		1,263	56.4%	1.8	8.7%									
45	静岡県	高潮対策事業	沼津港海岸 千本・我入道地区	沼津市	堤防(改良) L=653m 胸壁 L=170m 陸閘(改良) N=2基	R2 (前回)	H8~R4	5,657	再評価実施(R2) 後5年が経過	5,534	97.8%	19.2	27.1%	-	◎	◎	継続	・近年、東日本大震災や能登半島地震での津波発生により、事業の必要性が高まっており、早急な対策が求められている。さらに、事業の投資効果も見込まれ、地元住民からの期待も大きく、今後の事業の進捗が見込めることから、事業を継続する。	国 50% 県 50%	港湾整備課		
						R7 (今回)	H8~R10 (+33%、6年延伸)	7,073 (+25%、1,416増)	社会経済情勢の急激な変化等 (全体事業費の増加)	6,193	87.6%	9.1	19.2%									
46	静岡県	高潮対策事業	相良港海岸 片浜・相良須々木地区	牧之原市	堤防(改良) L=3,856m 胸壁(改良) L=329m 陸閘・水門(改良) N=16基	R3 (当初)	R3~R14	1,990	事業採択(R3) 後5年が経過	-	-	4.3	27.1%	-	◎	◎	継続	・近年、東日本大震災や能登半島地震での津波発生により、事業の必要性が高まっており、早急な対策が求められている。さらに、事業の投資効果も見込まれ、地元住民からの期待も大きく、今後の事業の進捗が見込めることから、事業を継続する。	国 50% 県 50%	港湾整備課		
						R7 (今回)	R3~R14 (変更なし)	1,990 (変更なし)		517	26.0%	5.8	19.7%									
47	静岡県	街路事業	都市計画道路 御殿場小山線	御殿場市	車道拡幅工 L=279m	R3 (当初)	R3~R9	990	事業採択(R3) 後5年が経過	-	-	-	-	-	◎	◎	継続	・整備に対する地元の期待も高く、さらに、事業の投資効果も見込まれ、地権者も協力的であり今後の事業の進捗が見込めることから、事業を継続する。	国 50% 県 35% 市町 15%	街路整備課		
						R7 (今回)	R3~R9 (変更なし)	990 (変更なし)		512	51.7%	3.1	12.2%									

※1 「変更理由等」欄は、全体事業費の変動が3割を超える場合、計画期間の変動が5割を超える場合に記入する

※2 「評価の視点」欄は、「継続が妥当」→◎、「見直しにより継続が妥当」→○、「継続は妥当ではない」→×

※3 河川事業の評価は、原則として現在からの経済性を評価する。(治水経済調査マニュアル(案))